

再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム  
令和5年度 CIREn 研究分科会開催 議事メモ

1 分科会名	レアメタル回収研究分科会
2 日 時	令和5年9月20日(水) 16:30~17:45
3 場 所	佐賀大学理工学部9号館 6階 609セミナー室
4 参 加 者	<ul style="list-style-type: none"><li>・田口電機工業(株) 1名 (オンライン参加)</li><li>・佐賀県新産業エネルギー課 1名 (オンライン参加)</li><li>・住友金属鉱山(株) 吉田航 (講師)</li><li>・佐賀大学 11名 (オンライン参加)</li><li>・佐賀大学 18名 (対面参加)</li></ul> 計 32人
5 議 事	<ul style="list-style-type: none"><li>・レアメタル回収研究分科会 2023年度第1回セミナー 「希少金属の安定供給に向けた大学での学術研究と工場での生産管理」</li></ul>
6 開催結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・西九州化学工学懇話会との共催として講演会を開催した。</li><li>・製錬企業である住友金属鉱山株式会社の吉田航様に大学院在学した九州大学におけるホスホニウムとアミド基を1分子に有する化合物の開発とロジウム抽出、修了後に就職した住友金属鉱山の企業の紹介、ならびに住友金属鉱山のフィリピン事業所におけるニッケルの乾式製錬、硫黄回収、ニッケルの電解精錬について、大学での考え方との相違を軸に講演していただいた。</li><li>・コロナ禍の第9波やインフルエンザの影響を考慮して対面とオンラインのハイブリッド開催とした。</li></ul>
7 次回開催 (予定)	<ul style="list-style-type: none"><li>・R5年度内に3回講演会を開催し、情報提供に努めたい。引き続き懇親会も企画したい。</li></ul>



ニッケルの精製のためのフィリピン現地での工程を説明する吉田氏

**まとめ**

- 学生時代から企業就職後まで一貫して金属の分離についての研究を実施。
- 金属の分離(製錬)に関する研究は成熟した分野と見られがちだが、先送りにされてきた課題や、未解明の科学が旧態依然として残っており、また、持続的な社会構築のための新たな課題も多く出てきている。
- 製錬の技術者・研究者は材料工学系の学科出身者が多いが、化学(物理化学、無機・分析、有機・高分子、電気化学、化学工学など)の面白さが詰まった研究分野である。
- 大学での研究と工場での操業改善・生産管理は共通する部分もあるが、異なるスキルも多く必要。特にスピード感が違うことを痛感。

オンライン参加者への配信